

004

コンクリートポンプ車を活用した自治体との防災協定

取組主体

株式会社ヤマコン

従業員数

220 人

想定災害

地震等

実施地域

山形県

- 2つのコンクリート関連業界団体を巻き込み、山形市及び天童市と、業界の特殊機械を活用する防災協定を締結。

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

業界団体を巻き込んだ災害時協力で地域に貢献

- 株式会社ヤマコンは、コンクリートを圧送する特殊機械であるコンクリートポンプ車を使用し、建設現場の躯体工事を請け負う専門工事業「コンクリート圧送事業」を東日本で広く展開している。
- 同社が所属する山形県コンクリート圧送協会と、山形中央生コンクリート協同組合が協力し、平成 29 年に山形市、平成 30 年に天童市と、災害時における消防活動応援に関する防災協定を締結した。
- 両団体と自治体が協定を結ぶことで、コンクリートミキサー車が消防用水を運搬し、コンクリートポンプ車が給水や放水を行うという連携が可能となった。これにより、地震等により消火栓が使用できなくなった場合に貯水槽に給水を行うことや、消防車と協力して消火活動を行うことが可能となる。また、コンクリートポンプ車は吸引も可能であるため、集中豪雨時の排水活動に貢献することも期待されている。



協定締結式の様子

東日本大震災の教訓に基づき BCP を策定

- 東日本大震災では、仙台市にある仙台支店と石巻市にある関連会社が被災し、社屋とコンクリートポンプ車を 4 台失い、復旧までに半年を要した。同社は、この経験からサプライチェーンの維持の重要性を認識して事業継続計画（BCP）の策定に着手し、平成 29 年度には、コンクリート業界で初めての「国土強靱化貢献団体認証（レジリエンス認証）」を取得した。
- 同社は、BCP の策定を通じてサプライチェーンの維持の重要性について考える中で、発災時に自社のコンクリートポンプ車を活用することで、地域における消防体制の強化に貢献できるのではないかと考えた。そこで、同社が所属する山形県コンクリート圧送協会に働きかけ、同防災協定の締結が実現した。



防災訓練において放水するコンクリートポンプ車

2 取組の平時における利活用の状況や効果

- 同社は、毎年防災の日に協定先の自治体が開催する合同訓練に参加し、地域の方や他団体と交流を深めるとともに、コンクリートポンプ車が消火活動等に対応できることを広く紹介している。

3 現状の課題・今後の展開等

- 防災力と事業継続力をより実効性の高いものにすべく、地域や自治体との協力体制を一層推進する方針である。

担当者の声

- 業界をリードする立場として非常時対応に関する活動を行ってきた結果、経済産業省より「地域未来牽引企業」に認定されるなど、本活動が企業価値向上や当社への注目が高まる起点となりました。

問合せ先

株式会社ヤマコン 法人番号：6390001002265

TEL：023-666-6066 FAX：023-686-9681 E-Mail：ke-yoshida@ymcg.co.jp